



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

# 木佐木 ただまさ

**日本共産党** 見解を紹介します

いのちとくらし  
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

## 生活保護費の減額は不当 画期的な判決くだる

### 厚労省の算定方法 誤り認める

2月22日、画期的な判決が下されました。それは安倍前政権が強行した生活保護基準の引き下げの判断を不当とし、減額処分を取り消すという判決（大阪地方裁判所）です。

この判決で重要なのは、厚生労働省が基準引き下げの口実にした物価下落の算定方法の誤りを明確に認めたことです。

厚労省は、引き下げ理由を物価の下落を口実にしてきましたが、その算定起点は、2008年の世界的な原油価格や穀物物価の高騰を受けた「特異な物価上昇」にしていました。そこから物価下落を算定すれば物価下落率が大きくなります。極めて恣意（しい）的なやり方です。また、生保利用者が購入する機会が少ないテレビやパソコンの物価下落が大きく反映される厚労省独自の算定方法も問題視されました。生保利用者の消費実態に沿わない手法を用いて基準を引き下げたことに「合理性は乏しい」と批判しました。当然です。

## 就学援助などにも影響 困っている人に冷たい政治 転換を

生活保護基準の引き下げの影響は、生保利用者にとどまりません。就学援助など暮らしに関わる多くの制度にも連動していたため、生保利用者以外の様々な方にも深刻な影響を及ぼしました。

国民の暮らしを豊かにすることが使命のはずの政治が逆のことをやって良いはずがありません。裁判の行方はこれからですが、全国1000人の原告団と連帯し、一人一人の暮らしを守り支える政治への転換を進めるために力を尽くしたいと思います。

## 食料支援プロジェクト 各地に拡大中!



写真上下 神大前の食料支援

2月25日、毎月恒例となった民青同盟主催の神奈川大学前での食料支援プロジェクトにお手伝い＆相談対応要員として参加しました。回を重ねるごとに取り組みの認知度も上がり、過去最高の来場者に。「先月これで生き延びられました」「買い出し手伝います」などこれまでにない学生からの声も寄せられるようになりました。

3月28日（日）には、汐田総合病院が中心となり潮田公園での食料支援も実施される予定になっています。私も相談員として参加する予定ですので、お困りの方は是非お立ち寄りください。



どけで指まぐいで  
みんなでコロナ危機を乗りこえよう

**食料支援 Food Aid**  
doação de alimentos  
&なんでも相談会

FOOD BANK

地域の皆様から提供された食料や日用品を無料で配布します

《日時》2021年3月28日(日)  
11時～14時(予定)

《会場》潮田公園自由広場  
(鶴見区向洋町2-71-1)

～食品集め、カンパにも  
ご協力お願いします～

主催：  
第1回うしろぶね食料支援&なんでも相談会実行委員会  
横浜労働者福祉協会 0947-3260 汐田総合病院 0574-1011  
心身障害者福祉会 0921-5143 社会福祉法人ふれあひ 0908-7041  
よこはま健康友の会 0947-3260 鶴見区社会福祉推進協議会

汐田病院の食料支援&  
なんでも相談会チラシ